

会 議 記 録

会 議 名 称	第1回加古川市歴史文化基本構想策定委員会
開 催 日 時	平成30年11月2日（金）午前10時から正午まで
開 催 場 所	加古川市役所新館7階 171会議室
出 席 者	<p><委員></p> <p>金子委員長、山本副委員長、神戸委員、茂渡委員、村上委員、大庫委員、西村委員、小野委員、中田委員、大西委員</p> <p><オブザーバー></p> <p>協働推進部ウェルネス推進課 清水副課長</p> <p><事務局></p> <p>教育委員会 田淵教育長</p> <p>教育指導部 平田次長</p> <p>文化財調査研究センター 沼田所長、宮本副所長、安田庶務担当係長</p> <p>マヌ都市建築研究所 三浦、小松</p>
会 議 次 第	<p>1 開会</p> <p>(1) 教育長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 委員長、副委員長の選任について</p> <p>(2) 歴史文化基本構想について</p> <p>(3) 加古川市歴史文化基本構想策定について</p> <p>(4) 今後のスケジュール等について</p> <p>3 閉会</p> <p>(1) 委員長あいさつ</p>

議事内容	
1 開会	(1) 教育長あいさつ
2 議事	<p>(1) 委員長、副委員長の選任について</p> <p>委員長に金子委員、副委員長に山本委員が選任された。</p> <p>(2) 歴史文化基本構想について</p> <p>事務局から文化庁が定める歴史文化基本構想について概要説明があった。</p> <p>(3) 加古川市歴史文化基本構想について</p> <p>事務局から加古川市歴史文化基本構想（案）を基に内容の説明があり、意見交換を行った。</p>
(委員)	構想策定の背景について記載があるが、これらの背景を受けて、どういっ

	<p>た取組みにつながるのか、方向性について記載して欲しい。また、場の魅力をつくるなど、文化財を活かすような意向を記載して欲しい。</p>
(事務局)	<p>ご指摘の件は、文化庁並びに兵庫県教育委員会からもご意見がありました。現在は、加古川市の通史的な背景を記載していますが、これらの背景を受けて今後の目的へとつなげていくような表現・内容に見直します。</p>
(委員)	<p>関係する計画として、観光まちづくり戦略が挙げられていますが、まず、本市には住民が楽しむことが出来る観光地が必要だと思います。本市の観光地を訪れる市民は多いとは言えません。また、歴史を伝える資料として保存展示されているモニュメントも傷みが目立つものがありますが、これらを活かしていきたいです。</p>
(委員)	<p>関係する計画の表記に、一部重複が見られます。また、基本構想を策定した後、この構想を踏まえた計画策定はどうなりますか。</p>
(事務局)	<p>重複については修正します。また、構想策定後の計画については、構想よりも具体性が高く、実施期限を明確化した地域計画につながっていきます。改正文化財保護法に合わせた形で作成する必要があります。</p>
(委員)	<p>文化芸術基本法の改正に伴い、文化財保護法が改正されました。改正後の文化芸術基本法では観光振興や教育など、文化芸術の振興の目的性について明記されています。こういったことも、構想の位置付けとして記載して欲しいです。</p>
(事務局)	<p>文化芸術基本法が、文化財保護法と関連している旨、書き加えたいと思います。</p>
(委員)	<p>播磨工業地帯の記述について、文章の構成がネガティブな印象を受けます。工業地帯には特有のデザインがあり、インダストリアルツーリズムなど、宣伝によって人を呼ぶことが可能だと思います。実現の可否は別として、この部分について、肯定的にとらえて、文章を書いていくと良いと思います。</p>
(委員)	<p>工業地帯・工業化も1つの歴史、産業遺産・産業文化としてポジティブに評価しようというご意見かと思います。夜の工場見学などは、加古川市の名所になるということで、兵庫大学の学生たちがインタビューを行っています。</p>
(委員)	<p>加古川市独自の地場産業について記載する案が出ていますが、工業出荷額にすると、どのような感じでしょうか。伝統的なものと、今のこのまちの実</p>

	<p>態として何が伸びてきているのか、という視点も必要だと思います。</p> <p>また、軍都化などの戦争の歴史は、市史には載っていない事柄なので、鶴林寺に移設してある中村旅館にあった特攻隊の碑など、紹介しても良いと思います。</p>
(委員)	<p>産業というコンテンツを観光文化資源として取り入れる、という視点を住民の方々にも考えてもらいたいです。</p>
(委員)	<p>市域の土地利用について、「市街地が駅周辺に同心円状に広がり」という表現は適切でしょうか。</p>
(委員)	<p>その件ですが、今の市街化区域の土地利用は、主な駅を拠点に商業や高層マンションなどでの利用になっており、駅から離れるほど、低層の土地利用の規制になり戸建住宅が多い、という意味でこの表現は分かりやすいかと思います。</p>
(委員)	<p>通史として見た場合、水害や地震災害についての記述が無いですね。加古川には様々な災害がありましたが、比較的安全に過ごしてきました、という視点で盛り込んではいかがでしょうか。</p>
(委員)	<p>安全に、ということであれば、加古川遷都問題などとリンクさせて記載しても良いと思います。</p>
(委員)	<p>教信寺の教信上人についても、近代だけでなく古代における歴史的な位置づけについて、書き加えても良いと思います。</p>
(事務局)	<p>委員の方々からのご意見を受けまして、景観については少しネガティブな表現が残るかもしれませんが、工業の発展に関する文章について、全体的にポジティブな表現になるよう気を付けてまいります。また、その他のご意見について、可能なものは通史に取り込みますが、関連文化財群の中で改めて整理したいと思います。</p>
(委員)	<p>産業界は急速に変化していますが、近代の産業について、その象徴的な事柄が記載されていますね。ここにある企業の多くは、廃業又は事業内容を変えて事業を行っておられます。加古川の産業は戦前と戦後では大きく変わっており、小売業の変化も含め、魅力あるまちづくりを行うために、観光に対する行政の課題は大きいと思います。</p>
(委員)	<p>加古川には魅力的なものが沢山ありますが、それらをどのようにピックアップ</p>

	<p>ップし、取りまとめていくかがポイントだと思います。どのような方法があるか、委員の方々の意見がお聞きしたいです。</p>
(委員)	<p>加古川の特徴を考えた時、象徴的なのは山陽電車より南の地域でしょうか。ただ、何か特定のものに絞り込み過ぎると、合意形成に時間がかかってしまい、逆に合意が得られないことが考えられます。ですから、今ある様々な魅力的なものを列挙すると良いと思います。</p>
(委員)	<p>スピリチュアルな部分や水害、産業遺産、近代遺産も、全て大切に興味深いことばかりだと思います。これらのことを集めながら、それぞれに焦点を当てていく、ということですね。</p>
(委員)	<p>この部分が、構想から計画への変化だと思います。計画に全てを記載することは難しいので、構想では広い範囲の文化財について記載すれば良いと思います。</p>
(委員)	<p>加古川市観光まちづくり戦略の「トカイナカ」という単語は、加古川を表現するにはピッタリだと思います。都会や田舎、産業遺産などが全てそろっているのも、ある教科書の会社が昭和40年代に加古川市を取り上げたことがあります。この特徴は、今も変わっていないように思います。</p>
(委員)	<p>整理する際に、焦点が必要だということ。逆に単一のコンテンツに頼りすぎると、他市の例から経済効果が少ないという危険性もありますので、バランスが難しいところですね。</p>
(委員)	<p>昨年度、市指定文化財に指定された文化財が表に載っていませんが、指定文化財の一覧表は、いつ現在のものか明記する必要はありませんか。</p>
(事務局)	<p>策定時には最新の状態を記載いたします。</p>
(委員)	<p>指定・登録文化財以外の歴史文化遺産については、文化財だけをまとめるのではなく、都市計画関係の景観形成重要建物などの指定物件があると思いますので、これらについても記載しないと連動が上手くできないと思います。また、発行元が観光協会のパンフレット・書籍などが記載されていますが、各所管の規定をしっかりとすることで、それぞれの立場の差が明確になり、各セクションでの魅力づくりへの考え方が見えてくるので良いのではないのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>景観形成地区などの文化財関係以外のものは、歴史文化を活かしたまちづ</p>

	<p>くりの取組み経緯として記載していますが、指定・登録文化財以外の歴史文化遺産としてまとめるべきものがあれば、整理したいと思います。</p>
(委員)	<p>指定文化財と関連文化財群との関連はどうなりますか。</p>
(事務局)	<p>関連文化財群については、指定文化財が核になりますが、その周辺のもので構成要素になり得るものを列挙しています。考え方は異なりますが、ほぼ重なってくると思います。指定文化財の説明を前段でしており、関連文化財群の項目と重複しても問題ありません。</p>
(委員)	<p>廃線になったものを含めて、加古川には多くの線路がありましたが、鉄道について焦点を当てた項目があっても面白いのではないのでしょうか。また、天の八十橋など江戸時代の観光案内の本に出てきますが、これらを参考にしてみたいかがでしょうか。また、戦国時代の加古川の様子など、ストーリーとして色々なことを発信できれば面白いのではないかと思います。</p>
(委員)	<p>以前、各地区にある逸話や伝承をまとめて、子どもたちに伝えようという話がありました。まちの歴史と合わせた物語が、加古川にはいくつもあります。こういうものを残し伝えていく取組みや、紙や本にして残すことも大切ではないのでしょうか。人と人とのつながりや、人への働きかけ、心に働きかける取組みをして、加古川市の良さを伝えるようなものになればと思います。キャッチコピーなどもあると良いかもしれません。</p>
(委員)	<p>文化財の物語化と行政としての評価。これを行えば、新たなフェーズが生まれてくるかもしれません。</p>
(委員)	<p>姫路市では中学校区単位で、住民の方と若手の係長とで、市の未来計画を作っていく作業を行い、最終的には、1冊の市全体の未来計画としてまとめられました。これを基に、住民の方がおっしゃっているような形に収れんさせていく活動費を、少額ですが支援しています。ですから、活動＝各自の思いが分散するという考え方から、活動＝各自の活動が収れんするという方向に持っていこうとされました。</p> <p>これらが、マスタープランとして1冊の本になるため、構造的に上手く考えられており、地域計画を専門にしておられた方らしい考え方だと思いました。</p> <p>このようなことを、こちらでも考えることが出来るなら連動させる。構想がきっかけとなり、後から提案が出るなど、順序立てて少しずつ考えていけば苦にならないと思います。</p> <p>こういったことは、人口が大きく減ろうとしているので、全国の市町村が</p>

	<p>考え始めています。魅力があれば人は移動しますので、人口減少率に大きく影響します。</p>
(委員)	<p>写真の注が誤っていますね。また、太子会式についてですが、植木市・金物市の記述はなくていいかと思います。</p>
(委員)	<p>私は企業と遺跡・文化財が共存することが出来る方法を、しっかりと考えなくてはならないと思います。産業ミュージアム構想などで、地域のコーナーなどを作ることが出来れば良いと考えています。</p>
(委員)	<p>高砂線の廃線跡は、将来的に整備が必要かと思います。</p>
(委員)	<p>商店街の写真は、人物が写っていないと魅力に欠けるので、賑わいのあるものが良いと思います。</p>
(委員)	<p>関連文化財群についてですが、城跡の項目が大きく抜けています。歴史文化テーマ「豊かな自然に育まれた暮らしの歴史文化」の中に、中道子山城の記述はありますが、城郭全てが抜けています。</p> <p>称名寺は織豊期の城郭として評価することが出来ますし、山城だけでなく、平地には物流拠点なのか役割は定かではありませんが、構居という城郭部が非常に多いです。どのテーマに分類するかは難しいところですが、記載しないわけにはいかないと思います。</p>
(委員)	<p>歴史文化テーマ「豊かな自然に育まれた暮らしの歴史文化」について、棚田やみとろフルーツパークが分類されていることに違和感があります。</p>
(事務局)	<p>棚田とフルーツパークは、景観という視点から、現状のように分類していますが、項目の初めに記載するのは馴染みませんので、記載する位置を検討します。城跡については、テーマに合ったところに加えようと思います。また、関連文化財群の並びについて、違和感の無いように整理します。</p>
(委員)	<p>城跡は物流の拠点という考え方もあるかもしれません。</p>
(委員)	<p>「構想に基づく取組み推進のための仕組みと体制」の中で、次の地域計画に向けての一文を加え、将来の本格的な計画について考えていくという意向と方向性を記載していただきたい。文化財保護法の改正が終わっているのに、計画に対する記載がないのは恥ずかしいです。</p>

	<p>(4) 今後のスケジュール等について 事務局から今後のスケジュール等について説明があり、意見交換を行った。</p> <p><スケジュール（予定）等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント実施：平成 30 年 11 月 21 日から 12 月 20 日まで ・第 2 回策定委員会：平成 31 年 1 月下旬 ・基本構想完成：平成 31 年 3 月 <p>※平成 31 年度に冊子や普及用パンフレットの作成及びシンポジウムや講演会の開催を予定</p>
(委員)	<p>現段階の基本構想（案）は、市民向けに公開するには、修正点が多く、粗いと思いますが、パブリックコメントまでに修正出来るでしょうか。</p> <p>例えば、印南野大地の開発に関する記述では、「印南野は一带に一村もなかったが、17 世紀ごろになると…」とありますが、この記述の直前に律令制時代の国絵図が載っています。こういった間違いが非常に多く、「加古川市の歴史文化の成り立ち」について記載した部分に特に多いです。</p>
(委員)	<p>パブリックコメントの時期をずらすことは可能ですか。</p>
(事務局)	<p>今後のスケジュールを考えると、難しいです。</p>
(委員)	<p>分かりました。突貫工事で修正を行うしかないですね。各時代の専門家に依頼して、修正をしていかないといけません。また、出典が分からないものが多いです。より良いパブリックコメントを得るために、私も全面協力します。</p>
(事務局)	<p>市民の方に示すパブリックコメントですので、公表に耐えうる最低限の部分でも、突貫で修正します。また、パブリックコメントの実施時期等については、改めて連絡させていただきます。</p>
(委員)	<p>この後、時間があれば個別項目について、具体的にお話ししたいと思います。</p>
(事務局)	<p>よろしく申し上げます。</p>
3 閉会	(1) 委員長あいさつ